令和５年度 神奈川県継続計画(BCP)策定研修　Q&A
訪問系・その他

問１　自然災害・感染症の BCP の発動基準について、基本的な考え方を教えてください。

（答）事業継続の困難が予測される段階で発動します。自然災害であれば被災が予測される段階で構いません。感染症は職員の出勤困難・就業制限が出た段階を目安にします。まず、発動は躊躇せずに発動させ、発動後に必要無くなれば解除すればいいと考えてください。（回答：感染症.com）

問２　頁 51　連携体制の構築について、各利用者ごとに作成するのでしょうか？

（答）連携体制とは事業継続における連携体制ですので、利用者ごとではありません。
（回答：感染症.com）

問３　策定に取り掛かろうと考えていますが、作成途中で困ってしまった時、具体的な内容を相談させていただく窓口はありますか？

（答）県障害サービス課福祉施設グループにご連絡ください。
メール（ken-shisetsu@pref.kanagawa.lg.jp）　電話（045-285-0738）（回答：神奈川県）

問４　地震等の自然災害が発生した場合の連絡方法（利用者や利用者家族、職員との連絡方法）について、どのような方法が良いのでしょうか？
また、災害時にできるだけ効果的に連絡を取るために、平時から準備しておくべきことや用意しておくべき物品等がありましたら教えて下さい。

（答）利用者本人と家族との連絡方法としては主に電話ですが、相互に連絡を頂ける関係も大事です。通信手段として電話回線がパンクする可能性がありますので、LINE などの活用が災害時は有効です。また、利用者のお住まいの大家さんや近隣住民の方などとも連携が取れるとより良いでしょう。職員については相互に連絡をとるルールが良いかと思います。物品等は稀に質問を頂きますが、GPS 的な物は高額で、実用性など現段階ではバランスが悪いので、電話や LINE がつながらなければ直接確認に行くのが最も確実です。（回答：感染症.com）

問５　障害福祉サービスは居宅介護、同行援護、介護保険では訪問介護、介護予防日常生活支援総合事業訪問型サービス（国基準、基準緩和型）を一体的に行っており、別に居宅介護支援事業を行っていますが、利用者によっては両制度を利用されている方もいます。BCP については、基本的に同じものを作成し、例えば利用者の利用サービス、他のサービス関係者、支援者他を当てはめているといった作成の方法をとった場合、問題となることはありますでしょうか？

（答）特に問題とは思えません。本質として事業を継続出来るかが大事ですので、事業所にとって必要なことが記載されていて職員が認識していれば大きな混乱も無いかと思います。問題は職員が混乱して有事の際に役に立たない計画であることです。
両制度をご利用ということですので、介護側の名称を使うのか障害者福祉側の名称を使うのかは社内で活用している名称に合わせる形式で良いかと思います。（回答：感染症.com）

問６　推進体制の構成メンバーの作成について、一人相談支援専門員なのですが、同じ事業所内で他の事業所がある場合、他の事業所の職員の名前を借りて構成メンバーを作成してもよいのでしょうか？

（答）名前を借りるとありますが、実質的に関わっていれば問題ありません。名前を貸しているだけでよくわからないといった発言があると周囲を不安にさせますので、その点にご注意ください。
（回答：感染症.com）

問７　BCP を策定したら行政に書類提出をする必要がありますか？それとも事業所の方で保管するだけでいいのでしょうか？

（答）策定した計画書は事業所にて保管し、職員への周知を図るとともに、定期的に見直しを行い、必要に応じて計画の変更を行ってください。（回答：神奈川県）

問８　複数の事業（相談支援事業所と地域活動支援センター）を行っている場合、BCP がやや複雑になる気がしますが、先行事例などがあれば教えていただきたいです。

（答）複雑に考えずに、事業ごとに職員と物資の不足を補う方法と、どの業務をどこまで絞るのかを考えます。先行事例は例示やガイドラインを参考にしてください。（回答：感染症.com）

問９　自然災害の対象に富士山の噴火等も含めるべきでしょうか？

（答）富士山が噴火した場合にどのような影響が事業にあるのかを考えてみてください。安否確認、避難、ライフラインの寸断、職員の不足、物資の不足となります。結論、地震などの災害と同様の対応になると思われますので、噴火について作るのは防災マニュアルで良いかと思います。
（回答：感染症.com）

問 10　説明はあったのですが、BCP とマニュアルの違いがまだよくわかりません。

（答）繰り返しになりますが、BCP は計画です。マニュアルは手順書もしくは操作方法です。
BCP を作成している中で違いが理解出来るかと思いますので、まずは着手してみてください。
（回答：感染症.com）

問 11　利用者は広域に及んでいるので、通信インフラが遮断されると安否確認が困難です。
今後は他相談事業所と連携して、お互いに利用者を学区内程度に絞っていくことも必要でしょうか。
入所系、通所系の BCP は、利用者が自施設利用時が主となりますが、計画相談の場合は安否確認と必要とされている支援内容の確認と支援要請になるかと思います。平時であっても社会資源の不足が最大の課題であり、相談員としてどこまでできるか暗澹とする思いです。

（答）まずは QOL の向上を念頭にサービス提供を考えてください。その中で BCP として出来る事をしていく考えで良いかと思います。現在はその BCP が無いことが不幸な二次災害を招きかねませんので、まずは着手されることをおススメ致します。（回答：感染症.com）

以上